

## 王子イーグルス新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

### 1. 本ガイドラインの目的

- 感染を最大限防ぎながら、アジアリーグ開幕へ向けて練習を継続する。
  - 王子グループや地域の活力に貢献する。
  - チーム、リーグの運営継続を実現する。
- その際、感染リスクを下げるためにチーム関係者が遵守すべき基準を示す。
- 感染が生じてしまった場合の適切な処置について示す。

### 2. 体調管理と報告（専用フォーム）

- (1) 体温測定：起床直後に検温し報告する。
- (2) 問診チェック：倦怠感、咳、咽頭痛、食欲低下の有無を報告する。
- (3) データ管理、モニタリング
  - ・チームスタッフが、全員の体温、問診結果を毎日モニタリングする。
- (4) 日頃より、マスクの着用、手洗い、うがいを徹底し、3密場所への立入りは控え、感染防止に努める。

### 3. 行動記録の記入

- ・感染疑い者が出た場合やPCR検査で陽性と判定されたとき、濃厚接触の対象者を素早く適切に判断することで、チーム内での感染連鎖を防ぐことを目的とする。
- (1) 選手は、日常と異なる状況が発生した場合には専用フォームに記録し、チームスタッフに連絡する。
- (2) チームスタッフは、本人の感染が判定された時のみ、1～2週間を遡って行動記録を確認し、関係機関（チーム、会社等）に報告する。

### 4. トレーニング参加への目安

#### 【練習を休む】

- ・発熱、倦怠感、咽頭痛、咳等の症状がある場合。
  - ・同居家族に同様の症状が3日以上続いた場合、本人は自宅待機とする。
- ※体調に異変がある場合、勇気をもって休む。

## 【復帰】

- ・解熱後 4 8 時間を経過し復帰する。
  - ・倦怠感、咽頭痛、咳の症状が治まった場合。
5. 選手および家族も含めたチーム関係者が PCR 検査で陽性判定されたときの対応
- (1) 関係機関（チーム、会社、日本アイスホッケー連盟等）へ報告  
するとともに、行動記録をもとに濃厚接触者の抽出し、自宅待機を連絡する。
  - (2) チーム内の濃厚接触者以外の体調を確認する。
  - (3) 感染者の行動範囲の必要箇所を消毒する。
  - (4) 濃厚接触者の復帰と消毒後の練習再開については、保健所の指示に従う。
6. メディア対応
- ・選手およびチーム関係者が PCR 検査で陽性と判定されたとき、速やかに事実を  
発表する。
- (1) 経過、症状。
  - (2) 発症 2 日前から発表日までの行動履歴。
  - (3) 感染経路について判明していること。
7. 今後について
- ・日本アイスホッケー連盟およびアジアリーグより示されたガイドラインに沿って  
対応を変更する。

以上